

民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は地域の皆さまのさまざまな問題についての相談相手です。令和7年12月に一斉改選が行われ、委員の交代がありました。皆さまの地区の担当をご確認ください。

民生委員・児童委員は高松市社会福祉協議会のまるごと福祉相談員と連携しながらさまざまな問題に対処しています。福祉についての困りごと、わからないことがあればお気軽にご相談ください。



〈名簿〉

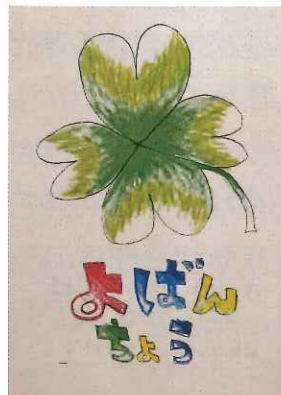
名前	ふりがな	TEL	担当地区
上野 忠昭	うえの ただあき	822-3672	番町2丁目1~16(1-2~11, 8-1~15をのぞく) 番町3丁目1~4, 11~15
岡内 清弘	おかうち きよひろ	831-7008	番町4丁目1~6, 番町3丁目5, 6, 10, 16, 17
林 るみ子	はやし るみこ	821-3214	丸の内4~7, 12, 13の一部, 玉藻町7, 本町の一部
川西 進	かわにし すすむ	821-6002	西の丸町, 寿町, 錦町1丁目1, 2, 5, 6
三崎 寛子	みさき ひろこ	851-7914	兵庫町
稲毛 静世	いなげ しずよ	090-9775-7825	田町1・2の一部, 3~9, 11~14
稲毛 和子	いなげ かずこ	851-6565	内町, 丸の内1~3, 8~11
江村 敬子	えむら のりこ	821-6065	西内町
長井 郁子	ながい いくこ	822-6925	丸亀町
佐藤 静男	さとう しずお	090-3185-1333	亀井町, 田町の一部
佐々木 堯善	ささき ぎょうぜん	851-6451	番町1丁目
修理 栄子	しゅうり えいこ	823-2930	古新町, 磨屋町
濱田 百代	はまだ ももよ	821-3861	鍛冶屋町, 紺屋町1~5, 9~10
十河 淳子	そごう じゅんこ	835-3784	南新町, 田町1・2の一部
泉 充代	いずみ みちよ	823-3867	主任児童委員
合田 京子	ごうだ きょうこ	080-3923-9498	主任児童委員

※詳しくは、会長の上野 (087-822-3672) または高松市地域共生社会推進課 (087-839-2372) までお問い合わせください。

編集後記

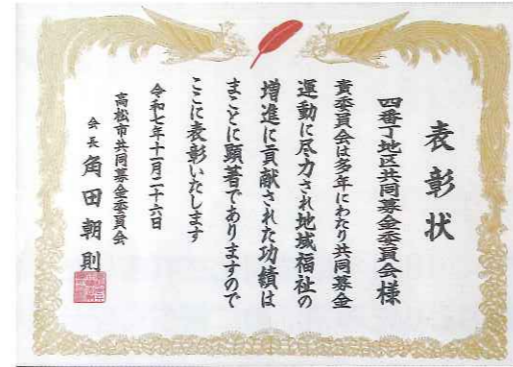
民生委員児童委員の一斉改選で、毎回担い手不足が議論されます。「民生委員は大変だ」という情報だけが一人歩きをして、やりがいを感じる役目であるという面があり伝わっていないことも一因でしょう。

「福祉」とは幸せという意味です。私の幸せはまわりの人たちの幸せからなっています。民生委員児童委員の活動も、人を幸せにするだけでなく、その中で自分も幸せになっっていく活動です。皆さまと一緒に、幸せの輪をひろげたいと思います。



# よばん福祉だより

●発行：四番丁地区社会福祉協議会 ●住所：高松市番町2丁目3-5 TEL/FAX：087-851-8479



長年の募金実績に対し感謝状をいただきました

四番丁ふれあいサロンの皆さまから、ことしも募金をいただきました。



にこにこ給食も共同募金に支えられています。



よつば福祉だより第8号をお届けします。

日ごろより四番丁地区社会福祉協議会にご理解ご協力をいただき御礼申し上げます。

本年度は、民生委員・児童委員の一斉改選が行われ、今までお世話をいただいた委員が退任され、これからお世話いただく委員が新しく加わり、体制も新たにスタートしました。地区社会福祉協議会では、にこにこ給食や、タクシーによる送迎をはじめ、多くの活動の財源を、高松市・高松市社会福祉協議会・共同募金からの助成金で行っています。社会福祉協議会からの助成金も、皆さまからいただいた共同募金が原資となります。つまり、地域の福祉活動は共同募金によって支えられています。本号では、共同募金の仕組みと高松市と四番丁地区の実績をご紹介します。地域福祉活動をより細かく行うために、共同募金についてご理解をいただければと特集しました。

四番丁地区社会福祉協議会は、四番丁コミュニティ協議会に所属し、地域の福祉活動を行う組織です。地域のみならず笑顔で幸福な毎日が過ごせるよう、みなさまのご意見をいただきながら地域福祉活動に取り組んで参ります。今後とも、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

四番丁地区社会福祉協議会会長 上野 忠昭

ご挨拶

この広報誌は赤い羽根共同募金の助成により作成しています。



## 共同募金とは？

共同募金運動は、都道府県を単位にして行われています。各都道府県内で共同募金としてお寄せいただいたご寄付は、同じ都道府県内で、子どもたち、高齢者、障がい者などを支援するさまざまな福祉活動や、災害時支援に役立てられます。

共同募金運動の期間は10月1日から翌年3月31日までの6か月間で、全国一斉に行われます。



## 共同募金のスタートは？

共同募金は、戦後の1947年に国民助けあい運動として始まり、1951年に法制化されました。各都道府県に設立された共同募金会が主体となり、社会福祉を目的とした事業活動に幅広く配分されています。

## 共同募金のしくみは？

共同募金は、地域の福祉団体等からの助成の申請を基に助成計画を立案し、その計画に基づき、助成事業に必要とされる目標額を毎年定めています。つまり、地域ごとに課題解決に必要な使いみちの額を事前に定めてから、寄付を募る「計画募金」です。

募金による助成には、市区町村での活動を応援する地域助成と、市区町村を越えた広域での活動や先駆的な活動を応援する広域助成があります。全国的な統計では、地域助成と広域助成の一部を合わせて、集まった募金の約7割が募金をいただいた地域で使われています。残りの3割は市区町村を越えた広域での活動や災害時の備えのためなど使われています。

## なぜ赤い羽根？

「赤い羽根」は共同募金のシンボルであり、寄付者には赤い羽根やステッカーが贈られることから、「赤い羽根共同募金」とも呼ばれます。このシンボルは、1948年頃にアメリカで使われていた水鳥の羽根を赤く染めるアイデアにヒントを得て、日本では不要になった鶏の羽根を使うようになりました。

今年も募金にご協力をお願いします。

# 赤い羽根共同募金

ご協力よろしくお願いいたします

- インターネットを使った募金  
※のQRコードより高松市を指定しての寄付もできます。
- 金融機関からの振込による募金  
百十四銀行 ※お振込用紙にご一筆ください。  
支店名: 高松市役所支店  
普通口座: 0002400  
口座名義: 高松市共同募金委員会  
※高松市共同募金委員会では、ご寄付の状況や募金活動の進捗を随時お知らせいたします。

赤い羽根は、水鳥の羽根を赤く染めることで作られます。不要になった鶏の羽根を使うようになりました。

高松市共同募金委員会  
Tel: 087-811-5251  
(高松市社会福祉協議会内)  
E-mail: 12-akafane@me.pikara.ne.jp

## 敬老会

9月28日(日)の午前中、旧四番丁小学校体育館において、高松市市長大西秀人様ほか、ご来賓をお迎えして、四番丁地区敬老会が盛大に開催されました。



毎年、地域の高齢者の皆さんがたくさん参加していただきますが、本年度も200名を超える申し込みがあり、会場は「久しぶり」「元気だったんな」という声があちこちで聞かれました。

アトラクションの最初はスタジオ・トゥルーによるキッズダンス、切れのあるダンスを披露してくれました。最後のプログラムでは、ステージから降りて参加の方々とふれあい、皆さん大喜びでした。



アトラクション2番目は、さぬき真鍮管研究所による金管の演奏。懐かしい曲もあり、みなさん、とても楽しんでいました。市内で敬老会の式典を開催している地区が少なくなってきましたが、四番丁地区では来年度も開催の予定です。対象のみなさまには、来年もどうぞ楽しみに健やかに過ごしてください。

## 令和6年度の実績と使途

四番丁地区の令和6年度募金実績は、2,434,962円（令和7年度は2,356,997円）です。ご協力ありがとうございました。

また、令和6年度の募金から四番丁地区の令和7年度の事業に対していただいた地区助成金は1,014,202円、高松市社会福祉協議会を通していただいた助成金は472,200円です。四番丁地区の多くの事業は共同募金に支えられています。



**令和7年度 令和6年度募金[約6,291万円]の使い道のご紹介**  
 通年度酒金(約163万円)を含め、令和7年度事業(約6,454万円)に助成しています。

**43% 高松市内の各地区への助成**

助成内容	助成額
各地区の独自性を生かした福祉教室の開催、友愛訪問等	12,308,401
地区社協広報紙発行事業	
ふれあいいきいきサロン推進事業	15,721,937
離島・山間部支援事業	
各地区での福祉事業に活用	

**47% 香川県全域への助成 (市内の施設含む)**

助成内容	助成額
広域助成	30,142,000
運動経費	

**10% 高松市内の福祉団体等への助成 (毎年4月上旬～5月上旬に公募しています。)**

事業職種	団体名	助成内容	助成額
高齢者福祉	高松市老人クラブ連合会	スポーツ大会等高齢者支援事業	545,000
障がい者(児)福祉	高松市身体障害者協会	身体障がい者文化祭等障がい者支援事業	545,000
	高松聴覚障害者協会	聴覚障がい者のための情報提供開催事業	91,000
児童・青少年福祉	新春子どもフェスティバル実行委員会	「新春子どもフェスティバル」開催事業	182,000
	高松市小学校長会	要保護・要保護家庭児童修学旅行費用助成	1,650,000
	高松市中学校長会	要保護・要保護家庭児童修学旅行費用助成	1,746,000
福祉育成・援助活動	高松市民生委員児童委員連盟	地区民生委員児童委員協議会活動推進事業	404,000
	高松ボランティア協会	詩集絵本制作事業	454,000
要保護関係団体	高松地区保護司会	「社会を明るくする運動」街頭啓発/パレード	154,000
その他の団体	高松市社会福祉協議会	社会福祉大会開催事業	600,000

『よつば福祉だより』は、この助成で発行しています

四番丁のふれあいサロンは、この助成で運営されています

四番丁では、この助成金をここに給食、タクシー利用などに活用しています

四番丁地区の子どもたちにも、助成されています

## 地域福祉ネットワーク会議について

高齢者をはじめとする地域にお住まいの方々が地域で安心して生活できるよう、四番丁地区でも、「地域福祉ネットワーク会議(地域の情報をまとめて、地域について考える場)」を設置し、住みたいまち、住んでよかったまちづくりについて、情報を共有して話し合っています。令和7年度は、第11回～第15回の5回に渡って開催しました。

第11回の会議には、かがわ縁結び支援センター(EN-MUSUかがわ)から講師をお迎えし、縁結びマッチングについてお話いただきました。



12回～15回の会議では、四番丁地区でも通所型サービスBや訪問型サービスBなどの取り組みができないかを、情報を集めながら協議を進めていました。



第14回の会議には、松島地区民生委員児童委員協議会の竹内登前会長ほかから、松島地区での取り組みを紹介いただきました。



四番丁地区では、地域福祉ネットワーク会議のほか、コミュニティプラン作成に向けて協議を重ねていますが、その中の福祉保健分科会でも、ネットワーク会議の内容と連携した地域福祉について話し合っています。

住みやすいまちになるために、地域のみなさまの意見の中から、できることから進めていきたいと協議を重ねています。どうぞご意見をお寄せください。